

〔派遣〕

派遣研究者	電気通信大学大学院 情報システム学研究科 助教 中後 大輔	1072001
研究集会名	10th International Conference on Rehabilitation Robotics (ICORR2007) (IEEE Robotics and Automation Society, Engineering in Medicine and Biology Society)	
開催期間	平成19年6月13日～15日	
開催場所	オランダ国 ノルドバイク市	
発表論文	起立・着座支援機能を有するリハビリ歩行器の開発 (Rehabilitation Walker with Standing and Seating Assistance)	

概要

本会議は、世界最大級の福祉工学及び支援デバイス研究に関する国際会議である。参加人数は300人強で、現在実生活において福祉デバイスを使用しているユーザー（障害者）20人がゲストが招かれ、また福祉機器の製造販売会社12社の企業展示があり、実機を用いたデモンストレーションも行われた。

本会議では、オーラルセッション約60件とポスターセッション約200件があり、私はオーラルセッションにて標記論文の講演発表を行った。本発表は、我が国において、特に自宅にて生活する症状の軽い（要支援～要介護2程度、平成19年改正前基準）高齢者の起立動作を支援する「小型・軽量・低コストな支援デバイスの開発」に関するもので、会場の大きな注目を集めた。また、システム動作や制御方式に関する技術的な質問のほかに我が国の介護保険に関する質問等も受け、大変活発な質疑応答となった。特に欧米の研究者に対し、我が国の現状から被介護者使うことができる予算は限られているため、低コストなデバイスの開発が求められていることをアピールすることが非常に重要であった。

講演発表及び質疑応答では、欧米の福祉工学研究者とディスカッションを行うことができ、また他者の福祉デバイスに関する種々の研究発表から大きな知見を得ることができたことは有意義であった。